

# 暮らしを守る より良い川づくりに向けて！

治水

利水 環境

治水

## 水害から命と暮らしを守る

治水とは、洪水・高潮などの水害や、地すべり・土石流・急傾斜地崩壊などの土砂災害から人間の生命・財産・生活を守るための事業です。帯広河川事務所が管轄する十勝川の中流から上流は、扇状地を流れており、川の流れが急で、大きく蛇行しています。このため、川の流れを安定させ、増えた水が街や農地に流れ込まないように、堤防や護岸の工事をしています。また、光ファイバーによる河川の監視や、堤防から洪水が溢れたときに水の勢いを軽減するための「治水の柱」の整備も進めています。工事を進めるに当たっては、地域の方々と協働し、動植物等の自然環境に十分配慮して行っています。

## 十勝の河川を守る

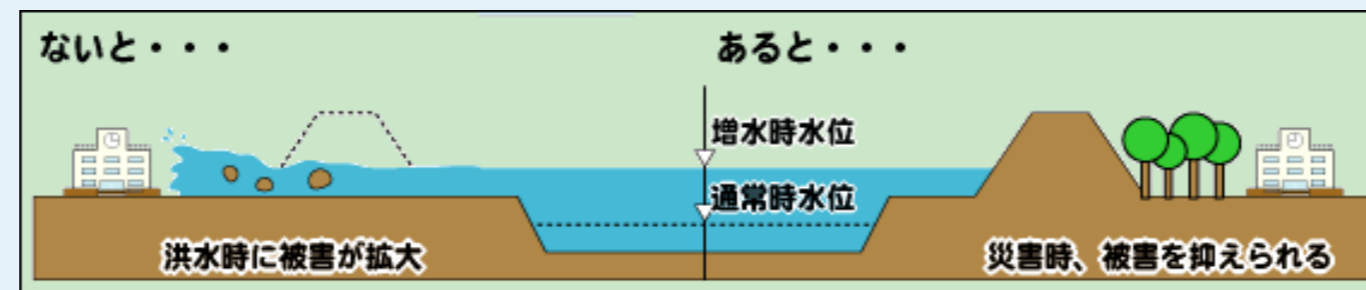
帯広河川事務所は一級河川十勝川流域のほぼ中央に位置し、十勝川の中・上流部と札内川や音更川などの支川の管理や河川改修、砂防事業等を実施しているほか、十勝ダムと札内川ダムの管理・操作を行っており、住民が安心して暮らせるように洪水に対して安全で、かつ、良好な水辺環境を保全・創出する治水事業を展開しています。

洪水を安全に流す！  
ちく てい もり ど  
築堤（盛土）

普段は穏やかな川も、大雨が降ると、川の水は高水敷の上まで増えます。この時に堤防がないと、増えた水は街や農地に流れ込み、大きな被害が出てしまいます。帯広河川事務所ではこれまで約220kmに渡り、堤防を築いてきました。現在は、数十年に一度降るような大雨に対して堤防の保護対策を行っています。



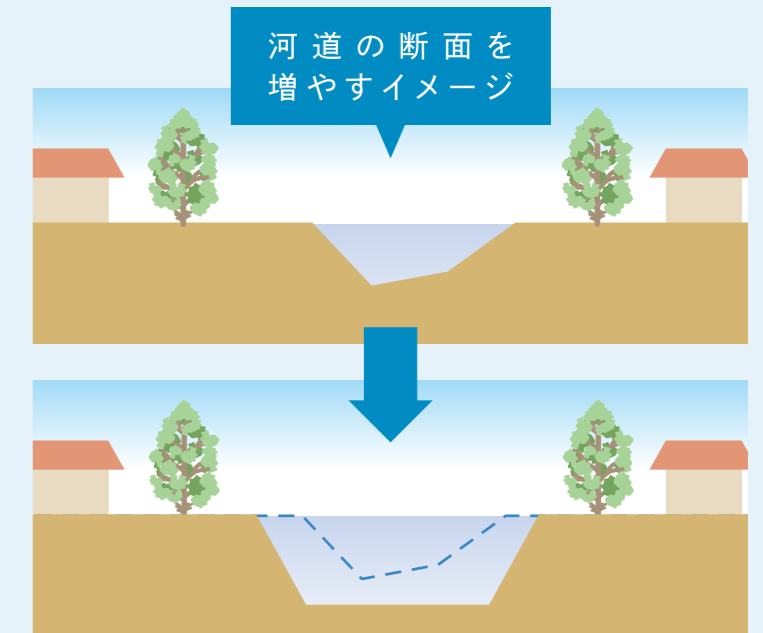
堤防工事の様子



堤防役割の図

流せる水の量を増やす！  
かどう くっさく  
河道掘削

河川の水が流れる部分のことを「河道」といい、洪水が河道内を安全に流下させるため、流下断面（幅や深さ）が不足している区間においては「河道掘削」を行っています。



帯広河川事務所の仕事  
治水

ひき  
引  
堤

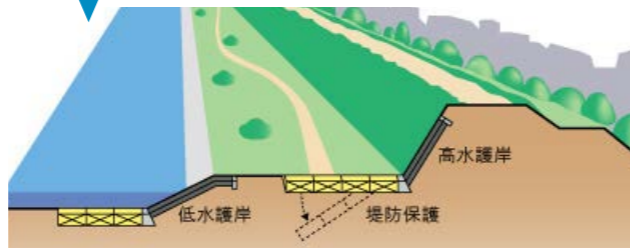
帯広市街と音更市街が広がる十勝大橋付近  
 一帯は、十勝地方の主要な都市機能が密集  
 する地域である一方、川幅が上下流より極端  
 に狭く、大きく湾曲していました。このため、本  
 地区の治水安全度の向上を目的に引堤等の  
 事業を実施しました。



木野引堤事業

ご  
護  
岸

十勝川水系の河原には、大きな石が多く見  
 られます。大きな洪水が来ると、これらの石も水  
 の勢いで動かされ、川の形は洪水前後で大き  
 く変わります。水の流れる方向によっては、河  
 岸が大きく浸食を受け、堤防が削られること  
 もあります。これを防ぐために、堤防の保護と  
 して護岸ブロックなどを設置しています。



がすみ  
霞  
堤

堤防の一部を連続させず、洪水の一部を氾濫  
 させて下流に流下する洪水の量を少なくした  
 り、上流で氾濫した水を速やかに河川に戻す  
 ために用いる方法で、急流河川で多く採用さ  
 れています。帯広河川事務所管内では、札内  
 川や音更川、十勝川でも見ることができます。

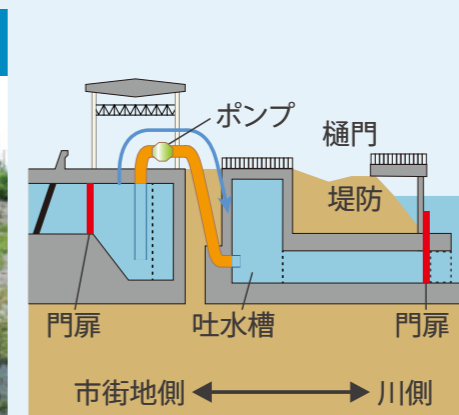


霞堤

ないすい はんらん たいさく  
内水氾濫対策

堤防にはところどころ市街地側の雨水等を排水  
 する水路が設置されています。この水路の出口に  
 はゲート(樋門)が設置してあり、洪水時に川の水  
 が増えても、逆流しないようにしています。排水先  
 の川の水位が上昇したり、それに合わせて樋門を  
 閉じたり、また、流入河川や排水路の能力を超え

たりすると、人が暮らす側の水(内水)が排出でき  
 なくなつてあふれ出します。こうした被害の防止や  
 軽減のため、固定式の大型ポンプがある「排水機  
 場」や、運搬可能なポンプを接続できる「救急排  
 水施設」などのポンプの力で水を排出します。



水防拠点の整備

洪水などの災害時に使用するブロックや、土砂等  
 の水防資材の備蓄、緊急時のヘリポート等を備え  
 た河川防災ステーションや水防拠点の整備を  
 行っています。



土幌水防拠点



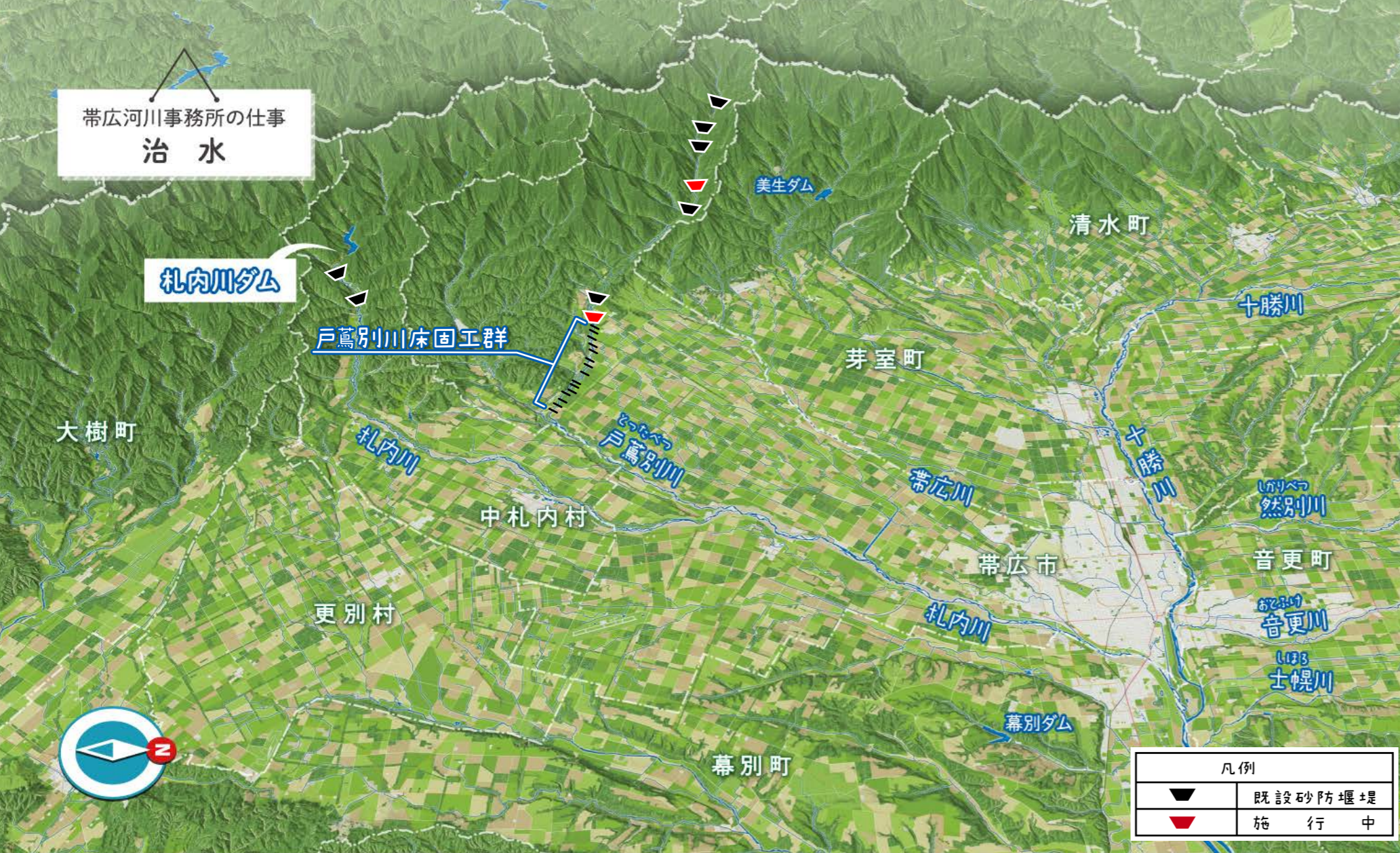
水防活動の様子



東帯広地区河川防災ステーション

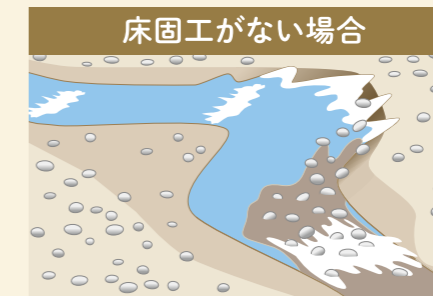


水防資材の備蓄(根固めブロック)

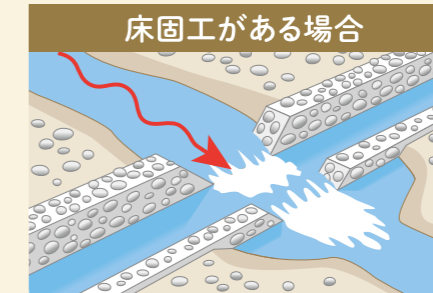


どしゃりゆうしゅつ  
土砂流出を防ぐ!! /  
とこがためこう  
床固工

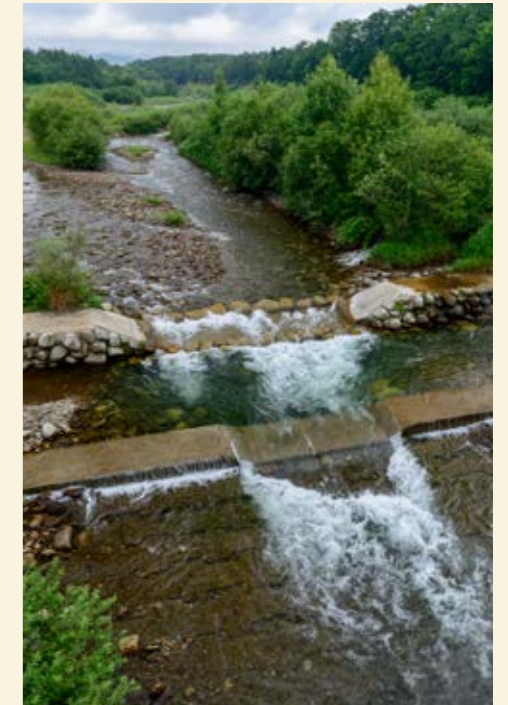
川の勾配を緩やかにして川底を安定させて川の土砂流出を防ぎます。特に川が急流の場合はいくつもの床固工を造る「床固工群」という方法をとります。



蛇行するたびに河原を削り土砂を  
下流に流してしまふ。



土砂の流失を防ぐことができる。

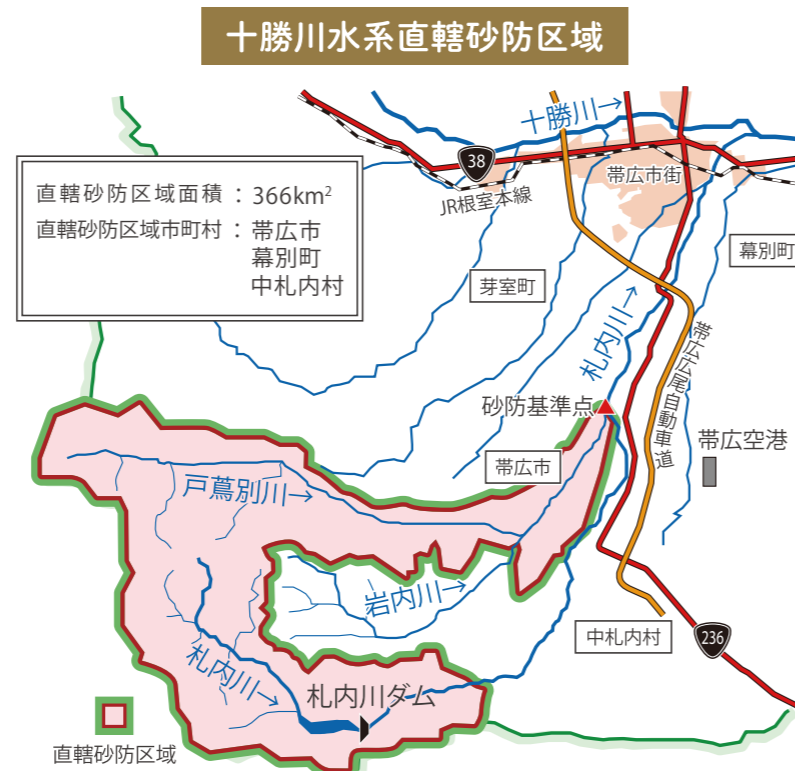


戸蔭別川床固工

さ ぼう  
砂 防

急激な土砂の流れを防ぐ

帯広河川事務所が管轄する札内川や戸蔭別川の上流部は急峻な山岳地形となっており、山肌が削られ、濁流となつて、河岸決壊や堤防決壊などの大災害が発生してきました。市街地を災害から守るため、砂防堰堤の建設など、土砂による災害の発生を抑制しています。



直轄砂防区域面積：366km<sup>2</sup>  
直轄砂防区域市町村：帯広市  
幕別町  
中札内村

どせきりゅう  
土石流を食い止める!! /  
さぼう えんてい  
砂防堰堤

砂防堰堤は大雨の時など一度に大量の土砂が下流に流出することを防ぎます。普段は土砂が流れ、洪水時に土石流を食い止めるスリット型の堰堤も造られています。



戸蔭別川第6号砂防堰堤



上流側



スリット部

スリット型の堰堤